

# どれで～も Bluetooth Ver.2

CBTTR-AV2

## 取扱説明書

### はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。  
また、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

### ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り等お気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
- 記載の各商品、および製品・社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

### — 本書に関するご注意 —

- 本書の内容の一部または全部を複数転載することは固くお断りします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点ございましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、[3]に記載わざ責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品はお客様により不適切に使用された場合、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンシティブおよびセキュリティのもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害につきましては、責任を負いかねますので了承ください。

\*This product version is for internal Japanese distribution only.  
It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

### 保証事項

- 正常な使用状態で、万一故障した場合には本保証書の保証規定にしたがい、無償修理いたします。
- 保証期間内であっても以下のようないふ場合には有償修理となります。
  - a. 本保証書を提示されない場合。
  - b. 販売店印、購入年月日の未捺印・未記入、および字句を書き換えた場合。
  - c. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - d. 買い上げ後の輸送、移動等における落下・衝撃等、お取扱いが適当でないために生じた故障および損傷。
  - e. 接続している他の機器に起因して生じた本製品の故障および損傷。
  - f. 消耗品の交換、および弊社以外での修理・改造・調整・分解などをされた場合。
  - g. 正常なご使用において消耗部品の自然消耗・摩耗・劣化等した場合。
  - h. 中古販売・オークション等の個人間買賣・譲渡によって製品を入手した場合。
- 本製品の使用によって生じた直接・間接の故障（データの損失等）については当社は一切の責任を負いません。
- 無償保証期間内に問題なく、すべてセンサードバックによる修理対応とさせていただきます。尚、保証期間内の送料は、発送時はお客様のご負担、修理完了後の商品の返送時は弊社の負担とさせていただきます。保証期間外の送料は往復ともお客様負担とさせていただきます。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有效です。  
This warranty is valid only in Japan.

### 保証期間 ご購入から 1 年間

※中古販売・オークション等のご購入を除きます。

※保証期間内の修理の際、ご購入時のレシート等をご同梱いただきます。  
紛失しないように大切に保管してください。

### 制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。  
必ず離れてご使用ください。
- 強い電波やノイズが発生している場所の近くや、2.4GHz帯の製品が多い場所の場合、ノイズ混入や音切れが発生したり、他の無線機器の動作に影響を及ぼす場合があります。
- 通信距離が有効範囲内であっても、特定の環境下（人体／金属／棚／壁等）や周辺の電波状況によって、ご使用になれない場合があります。
- 本製品は本書記載の環境にて動作検証を行っておりますが、製品リリース以降のバージョンアップ等により動作に制限がある可能性があります。  
恒久的なサポートを保証するものではありません。
- 本書だけでなく、送信を行う機器側の取扱説明書等もよくお読みになり、使用上の注意等を守ってご使用ください。
- 本製品の使用による情報の漏洩等が発生しても、当社は一切その責任は負いかねます。
- 本製品は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

### △ 注意

#### モード切替時のご注意

本製品は送信/受信モードの切替を行うと、機器のペアリング情報が初期化されます。誤つてペアリングが切り替わった状態で電源を入れてしまうと、再度ペアリングからやり直しとなりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

#### マルチペアリングについて

- 本製品は最大8台までのBluetooth対応機器の登録が可能です。（受信モード時、送信モード時は1台のみの登録になります。）
- 登録した機器が複数ある状態で本製品の電源をオンにした際は、いちばん最後に接続した機器へ優先的に接続されます。
- 登録機器が8台を超えると、はじめに登録した機器から順に登録が消去されていきます。

#### バッテリー内蔵製品の取扱いについて

- 本製品に搭載のバッテリーはおよそ500回以上の充放電を可能としておりますが、ご使用の頻度や充放電の状態によって、バッテリーの寿命は変わってきます。
- 充電しても使用できなくなったり、バッテリーの経年劣化により本体が膨らんでいた場合、ただちに使用を中止し、新しい物をお買い求めください。

#### 電源ケーブル、接続ケーブルに関しての注意事項

- 以下の注意点を守ってご使用ください。
- ケーブル被覆が損傷したり、故障を招くだけではなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。
- 各ケーブルを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむ、引っ張るなどの行為をしないでください。
  - ケーブルの上に機器本体や重い物を置かないでください。
  - ステークル、釘などで固定しないでください。
  - 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
  - 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかりと差し込んでください。
  - ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。
  - 各ケーブルやコネクタに負担をかけるような場所に設置しないでください。

#### 製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

#### ■販売・サポート

#### 株式会社 センチュリー

#### ■商品に関するお問い合わせ

〒277-0872 千葉県柏市ヨフタ(十余二)249-329  
[TEL]04-7142-7533(平日 午前10時～午後5時まで)  
[FAX]04-7142-7285  
[URL]<http://www.century.co.jp> [e-mail][support@century.co.jp](mailto:support@century.co.jp)

～お問い合わせ～  
修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受け付けてから発送をお願いいたします。

### 接続可能機器

#### ■送信モード時

#### ■受信モード時

#### ■音声入力端子を備えたオーディオ機器

※本製品付属のオーディオケーブルは、ステレオミニジャックタイプになります。それ以外の音声入出力端子と接続する場合は、別途変換プラグまたはオーディオケーブル等が必要になります。

### 対応Bluetooth機器

#### ■送信モード時

- A2DPに対応したBluetooth2.1以降のスピーカー、またはヘッドホン/イヤホン/ヘッドセット

#### ■受信モード時

- Bluetooth2.1以降に対応したスマートフォン、デジタルオーディオプレイヤー

### 製品仕様

#### ■商品名：どれで～もBluetooth Ver.2

#### ■型番：CBTTR-AV2

#### ■Bluetoothバージョン：Bluetooth4.0+EDR

#### ■対応プロファイル：A2DP

#### ■対応コーデック：aptX、SBC

#### ■有効範囲：約10m※ご使用の環境により異なる場合があります。

#### ■マルチペアリング：[送信モード時] 1台まで

#### ■[受信モード時] 8台まで

#### ■マルチポイント：非対応

#### ■内蔵バッテリー：リチウムポリマー充電池/バッテリー容量 250mA/h

#### ■バッテリー動作時間：[送信モード時] 約10時間

#### ■[受信モード時] 約6時間

#### ■充電時間：約2時間

#### ■寸法：幅35×高さ51×厚さ10mm(突起部含まず)

#### ■重量：約30g

#### ■温度・湿度：温度5°C～35°C・湿度20%～80%

(結露しないこと、接続する機器の動作範囲内であること)

### 製品内容

※接続する機器は別途ご用意ください。

#### □ CBTTR-AV2 本体



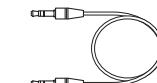
#### □ 専用充電USBケーブル x1 (TypeA-microB)



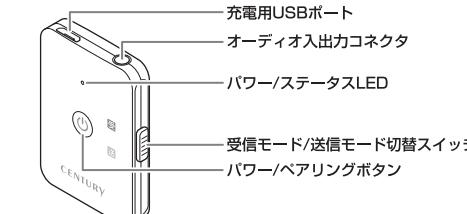
#### □ 取扱説明書/保証書(本書) x1



#### □ オーディオケーブル x1 (ステレオミニジャックタイプ)



### 各部名称



### 使用方法

#### ■基本的な操作方法

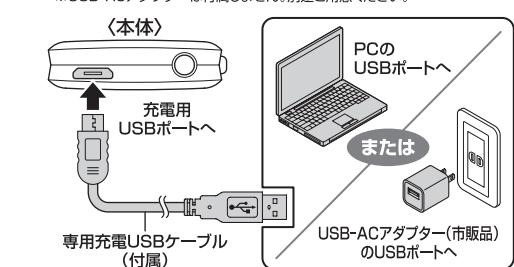
#### 【操作方法および状態一覧】

本体の状態	ボタン操作	パワー/ステータスLED表示
電源オン	電源オフ時に約2～5秒長押し	消灯→青色点滅
電源オフ	電源オン時に約2秒長押し	赤色点灯→消灯
ペアリング	送信モード	電源オン後、約5秒経過
	受信モード	[初回/モード変更直後] 電源オン後、すぐにペアリング状態
	【デバイス追加登録】	[デバイス追加登録] 電源オン後、約20秒経過
デバイスと接続中		消灯→青色点滅
モード切り替え	切り替えスイッチ変更後、電源オン	※切り替えを行つと登録された情報がリセットされます。

#### ■本製品を充電する

本製品をご使用の前に、次の方法で充電を行ってください。

- ◎本製品付属の充電用USBケーブルを使用して、図のように接続する  
と充電が開始されます。  
※USB-ACアダプターは付属しません。別途ご用意ください。



#### 【充電中、充電後のパワー/ステータスLEDの表示について】

本体の状態	パワー/ステータスLED表示
充電中	赤色点灯
充電完了	(赤色点灯→)消灯
充電残量低下	赤色点滅

#### 【満充電の目安】

約2時間  
※充電環境によって異なる場合があります。

#### 【使用時間の目安】

送信モード時…約10時間  
受信モード時…約6時間

【充電のタイミング】：本製品の使用中、パワー/ステータスLEDが赤色の点滅を始めたらバッテリー容量が低下していますので、充電を行ってください。

・長時間使用しない場合、1か月程度に1度、約50%の充電を行ってください。

#### 本製品を充電しながら使用する場合のご注意

本製品は充電しながらでも送受信の機能を使用することができますが、充電中は常にパワー/ステータスLEDが赤色に点灯しているため、動作の状態が把握しづらい場合があります。

ペアリング等の操作は、充電後に充電用USBケーブルを外した状態で行ってください。

# 外部機器との接続方法・使用方法

## オーディオ機器と接続して送信機として使用する(送信モード)

本製品をTVやオーディオ機器の音声出力端子に接続して、Bluetooth対応スピーカーやヘッドフォンに音声を送信します。

※複数のBluetooth機器に同時に音声を送信することはできません。

●WEBにてペアリング方法の動画解説があります。ご参照ください。



### ■接続可能機器

・音声出力端子を備えたオーディオ機器

※スピーカー出力端子からの音声出力には対応しません。

※本製品付属のオーディオケーブルは、ステレオミニジャックタイプになります。

それ以外の音声出力端子と接続する場合は、別途変換プラグまたはオーディオケーブル等が必要になります。

### ■対応Bluetooth機器

・A2DPに対応したBluetooth2.1以降のスピーカー、またはヘッドホン/イヤホン/ヘッドセット

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

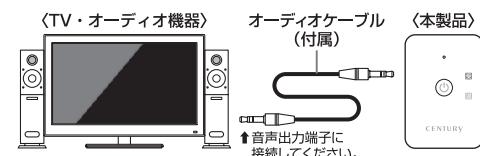
本製品を接続する際は、あらかじめ接続する機器とBluetooth機器のボリュームを下げた状態で行い、Bluetooth接続が確立されから、それぞれの機器のボリューム調整を行ってください。  
音量の調整を行わずに接続を行うと、突然大きな音が出て耳を痛めたり、機器が破損するおそれがあります。  
また、本製品を取り外す際も同様に、機器のボリュームを下げた状態で行ってください。

1 本製品の電源がオフになっていることを確認し、本体側面の受信モード/送信モード切替スイッチを「送信モード」側にスライドさせます。

※電源オンの状態でモード切替スイッチを操作しても、モードは変更されませんのでご注意ください。

2 付属のオーディオケーブルまたはお手持ちのオーディオケーブルを使用して、本製品のオーディオ出力コネクタとオーディオ機器の音声出力端子とを接続します。

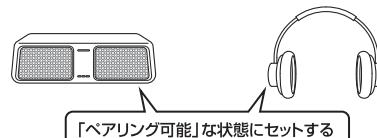
この際、設置場所等により本製品の操作が行いづらい場合は、手順③～⑤を行ってから接続しても問題ありません。



3 接続するBluetooth機器の電源をオンにし、ペアリング可能な状態にセットします。

※ペアリング可能な状態にする方法は、お手持ちのBluetooth機器の取扱説明書等をご確認ください。

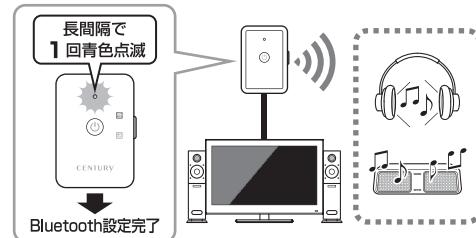
〈Bluetoothスピーカー・ヘッドフォン等〉



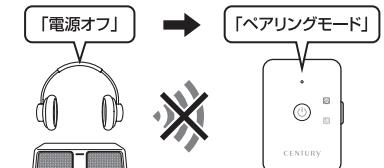
4 本製品の電源がオンの状態から約5秒後にパワー/ステータスLEDが赤⇒青に高速点滅し、ペアリングモードになります。



5 Bluetooth機器との接続が確立すると、パワー/ステータスLEDが長間隔で青色に1回点滅するようになります。  
これでBluetooth機器との接続は完了です。



6 これ以降はペアリングを解除するまで、電源をオンにすると自動的に接続が確立します。  
また、Bluetooth機器の電源をオフにして接続が途切れた場合、ペアリングモードになります。  
パワー/ペアリングボタンを約2秒長押しして、CBTTR-AV2の電源を切ってください。



音が鳴らない、リンクできない場合の対処方法

- 本製品のパワー/ステータスLEDの状態を確認し、ペアリングが確立されているかご確認ください。
- ペアリング時、接続したBluetooth機器からペアリングした際のお知らせ音が鳴ったかご確認ください。
- バッテリー残量が少ない場合、充電を行ってから再度ペアリングをお試しください。
- 機器によってはペアリング待受時間が短い場合もあるようです。この場合、③と④の順番を逆にしてペアリングをお試しください。

## Bluetooth対応スマートフォンからの音声を受信する(受信モード)

本製品をお手持ちのスピーカーやヘッドフォンと接続して、Bluetooth対応スマートフォンの音声を受信します。

### ■接続可能機器

・音声入力を備えたオーディオ機器(オーディオコンポ、ヘッドフォン等)

※本製品の奥のオーディオケーブルはステレオミニジャックタイプになります。  
それ以外の音声入力端子と接続する場合は、別途変換プラグまたはオーディオケーブル等が必要になります。

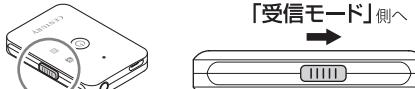
### ■対応Bluetooth機器

・Bluetooth2.1以降に対応したスマートフォン・タブレット、デジタルオーディオプレイヤー(iPhone、iPad、Android等)

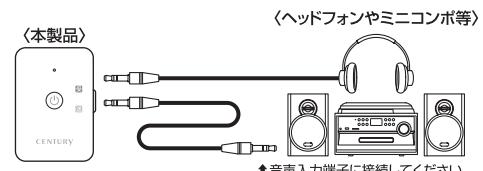
※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

1 本製品の電源がオフになっていることを確認し、本体側面の受信モード/送信モード切替スイッチを「受信モード」側にスライドさせます。

※電源オンの状態でモード切替スイッチを操作しても、モードは変更されませんのでご注意ください。



2 本製品とお手持ちのオーディオ機器を接続します。



3 お手持ちのBluetooth対応機器のBluetooth設定画面を開き、Bluetooth機器の検索とペアリングが可能な状態にします。



4 受信モードで初回起動時は、電源オンの状態でパワー/ステータスLEDが赤⇒青に高速点滅しペアリングモードになります。  
2回目以降のペアリング時には、電源オンにしてから約20秒経過するとペアリングモードになります。



5 Bluetooth機器との接続が確立すると、パワー/ステータスLEDが一定間隔で青色に点滅するようになります。

また、オーディオ機器を接続している場合、オーディオ機器からペアリング確立時のお知らせ音が鳴ります。



6 Bluetooth設定画面に本製品の型番「CBTTR-AV2」が表示されますので、それを選択すると接続が開始され、自動的に完了します。

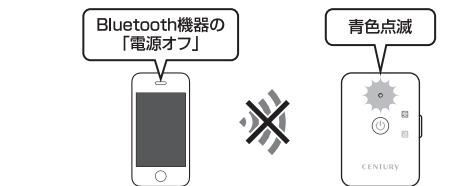
### 〈iPhoneの場合〉



### 〈Androidの場合〉



7 これ以降はペアリングを解除するまで、電源をオンにすると自動的に接続が確立します。  
また、Bluetooth機器の電源をオフにして接続が途切れた場合、パワー/ステータスLEDが青色点滅になります。  
パワー/ペアリングボタンを約2秒長押しして、CBTTR-AV2の電源を切ってください。



## 音が鳴らない、リンクできない場合の対処方法

- 本製品のパワー/ステータスLEDの状態を確認し、ペアリングが確立されているかご確認ください。
- ペアリング時、本製品に接続したオーディオ機器からペアリングした際のお知らせ音が鳴ったかご確認ください。
- 以前ペアリングした機器がそばにあり、新たに別の機器とペアリングしようとした場合、すでにペアリングしたことのある機器と優先的に接続されてしまうので、以前ペアリングした機器のBluetoothをオフにしてから再度ペアリングをお試しください。
- アンプ機能のないパッシブスピーカーに接続した場合、ボリュームが小さく聞こえないことがあります。  
アンプ機能のあるスピーカーに接続を行ってください。